



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
コード番号 6730 URL <https://www.axell.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 昭宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ (氏名) 田中 大輔 TEL 03-5298-1670
ゼネラルマネージャー
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,027	△0.8	807	52.7	839	61.0	585	59.3
2025年3月期第1四半期	4,061	△9.3	528	△32.0	521	△34.3	367	△36.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 842百万円 (228.1%) 2025年3月期第1四半期 256百万円 (△58.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	53.45	53.43
2025年3月期第1四半期	33.62	33.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	15,103	13,311	87.2	1,207.29
2025年3月期	15,042	13,015	85.6	1,174.61

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 13,172百万円 2025年3月期 12,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,200	△23.9	500	△46.7	510	△48.8	350	△49.5	31.92
通期	12,000	△21.3	1,000	△31.6	1,020	△33.9	730	△25.4	66.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2025年6月16日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行っていますが、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、影響額が軽微であるため、自己株式の影響を考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	11,211,989株	2025年3月期	11,211,989株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	301,372株	2025年3月期	247,772株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	10,957,149株	2025年3月期1Q	10,936,277株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては当社ウェブサイトへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	8
3. その他	9
最近における四半期毎の業績の推移	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は持ち直しの動きがみられ、今後も緩やかな回復が期待されております。しかしながら、アメリカの通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっております。また、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、スマート遊技機の普及に伴い、全体としては安定した推移が見られております。パチスロ機市場においては、スマートスロットへの移行のペースが緩やかになるとともに、市場の拡大に一定の減速感が見られるようになりました。一方、パチンコ機市場においては、スマートパチンコ限定の新ルールを搭載した機種が導入が継続しており、底堅い推移が見られております。

かかる環境の中で当社グループは、パチンコ・パチスロ機市場での安定収益確保に向けた取り組み、組み込み機器市場（注1）に向けたグラフィックスLSIの販売拡大、さらにはAI領域を中心とする新規事業の規模拡大に向けた取り組みに注力いたしました。また、新規事業の展開を加速させる観点から、アライアンスや出資の検討等を積極的に実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比34百万円減（同0.8%減）となる4,027百万円となりました。売上総利益は同246百万円増（同20.2%増）となる1,462百万円、売上総利益率は製品ミックスの変動による影響等により6.4ポイント上昇となる36.3%となっております。販売費及び一般管理費は、前年同四半期比32百万円減（同4.7%減）となる655百万円となりました。販売費及び一般管理費のうち研究開発費は、同29百万円減（同8.5%減）となる318百万円となっております。

以上により、営業利益は前年同四半期比278百万円増（同52.7%増）となる807百万円、経常利益は同318百万円増（同61.0%増）となる839百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同218百万円増（同59.3%増）となる585百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。また、下記セグメントのほか、各セグメントに配分していない全社費用が150百万円となっております。

① LSI開発販売関連

LSI開発販売関連は既存事業であるパチンコ・パチスロ機向け製品で構成されており、売上高は前年同四半期比67百万円減（同1.7%減）となる3,857百万円、セグメント利益は同232百万円増（同29.2%増）となる1,029百万円となりました。主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは、前年同四半期に対し3.9万個減となる13.0万個の販売、メモリモジュール（注2）製品は前年同四半期を上回る販売となりました。なお、当第1四半期末の同セグメントの受注残高は10,182百万円となっております。

② 新規事業関連

新規事業関連は、組み込み機器向け製品に加え、AIやWeb3、ブロックチェーン領域を中心としたスタートアップ事業であり、売上高は前年同四半期比33百万円増（同24.5%増）となる169百万円、セグメント損失は同27百万円減（前年同四半期は99百万円の損失）となる72百万円となりました。

（注1）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

（注2）「メモリモジュール」とは、パチンコ・パチスロ機の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で61百万円増加となる15,103百万円（同0.4%増）となりました。主な要因は、売掛金及び契約資産の増加（308百万円）、商品及び製品の増加（443百万円）、投資有価証券の増加（363百万円）に対し、現金及び預金の減少（639百万円）、有価証券の減少（300百万円）等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で235百万円減少となる1,791百万円（同11.6%減）となりました。主な要因は、買掛金の減少（400百万円）等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で296百万円増加となる13,311百万円（同2.3%増）となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加（254百万円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想は、2025年5月9日に開示いたしました「2025年3月期 決算短信」に記載のとおりであります。当第1四半期連結累計期間の業績は、通期の連結業績予想値に対して売上高で33.6%、営業利益で80.7%の進捗となるなど、好調に推移しております。この好調な推移は、第2四半期以降に見込んでいた新製品の販売が当初の想定より早期に進展し、一部の需要を先取りする形となったことによるものです。

そのため、現在の段階では通期の業績見通しに変更はありません。また、中間期の業績につきましては、一定の上振れが見込まれますが、市場や顧客の需要タイミングの不透明さ等を鑑み、現時点で予想値の見直しを実施する状況にはないものと判断しております。今後の業績推移や顧客の需要見込み等によって業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,000	4,360
売掛金及び契約資産	1,488	1,797
有価証券	1,600	1,300
商品及び製品	3,908	4,351
仕掛品	3	—
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	410	360
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,411	12,169
固定資産		
有形固定資産	191	180
無形固定資産	29	27
投資その他の資産		
投資有価証券	2,179	2,543
その他	230	182
投資その他の資産合計	2,410	2,725
固定資産合計	2,631	2,933
資産合計	15,042	15,103
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,571	1,170
未払法人税等	76	221
賞与引当金	—	22
その他	336	257
流動負債合計	1,984	1,671
固定負債		
資産除去債務	42	42
その他	—	77
固定負債合計	42	119
負債合計	2,026	1,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,028	1,028
資本剰余金	987	987
利益剰余金	10,714	10,807
自己株式	△195	△248
株主資本合計	12,535	12,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	343	597
その他の包括利益累計額合計	343	597
新株予約権	28	28
非支配株主持分	108	111
純資産合計	13,015	13,311
負債純資産合計	15,042	15,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,061	4,027
売上原価	2,845	2,565
売上総利益	1,216	1,462
販売費及び一般管理費	687	655
営業利益	528	807
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	23	3
為替差益	—	25
その他	1	0
営業外収益合計	25	32
営業外費用		
為替差損	33	—
自己株式取得費用	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	33	0
経常利益	521	839
特別損失		
減損損失	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	518	837
法人税等	155	249
四半期純利益	363	588
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	367	585

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	363	588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107	254
その他の包括利益合計	△107	254
四半期包括利益	256	842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260	839
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	L S I 開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	3,925	136	4,061	—	4,061
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,925	136	4,061	—	4,061
セグメント利益又は損失 (△)	796	△99	697	△168	528

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△168百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	L S I 開発販 売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	3,857	169	4,027	—	4,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,857	169	4,027	—	4,027
セグメント利益又は損失 (△)	1,029	△72	957	△150	807

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△150百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	19百万円	19百万円
のれんの償却額	2	—

(重要な後発事象の注記)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2025年7月18日付取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことを決議いたしました。

1. 処分の目的及び理由

当社は、2020年5月28日開催の取締役会において、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、「対象取締役」という。）が株価の変動のメリットとリスクを株主の皆さまと共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めることを目的として、対象取締役に対する譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入することを決議いたしました。また、2020年6月30日開催の当社第25期定時株主総会において、本制度に基づき、対象取締役に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額30百万円以内として設定すること、対象取締役に対して各事業年度において割り当てる譲渡制限付株式の総数は37,500株を上限とすること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間を20年間から30年間までの間で当社取締役会が定める期間とすること等につき、ご承認をいただいております。

2. 処分の概要

①払込期日	2025年8月15日
②処分する株式の種類及び数	当社普通株式 26,170株
③処分価額	1株につき955円
④処分総額	24,992,350円
⑤処分予定先	当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。） 5名 26,170株

3. その他

最近における四半期毎の業績の推移

2026年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2025年4月～ 2025年6月	第2四半期 2025年7月～ 2025年9月	第3四半期 2025年10月～ 2025年12月	第4四半期 2026年1月～ 2026年3月
売上高	4,027	—	—	—
売上総利益	1,462	—	—	—
営業利益	807	—	—	—
経常利益	839	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	837	—	—	—
四半期純利益	588	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	585	—	—	—
四半期包括利益	842	—	—	—
1株当たり四半期純利益	53.45円	—	—	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	15,103	—	—	—
純資産	13,311	—	—	—
1株当たり純資産	1,207.29円	—	—	—

2025年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2024年4月～ 2024年6月	第2四半期 2024年7月～ 2024年9月	第3四半期 2024年10月～ 2024年12月	第4四半期 2025年1月～ 2025年3月
売上高	4,061	4,081	3,738	3,362
売上総利益	1,216	1,110	1,117	943
営業利益	528	409	362	160
経常利益	521	474	334	213
税金等調整前四半期純利益	518	473	206	205
四半期純利益	363	328	138	154
親会社株主に帰属する 四半期純利益	367	325	139	146
四半期包括利益	256	506	247	△39
1株当たり四半期純利益	33.62円	29.70円	12.76円	13.32円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	14,330	15,153	14,807	15,042
純資産	12,265	12,801	13,053	13,015
1株当たり純資産	1,109.67円	1,156.22円	1,179.00円	1,174.61円